

SSM 10日間に渡るMSSM研修

アメリカの文化・科学に触れる



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号

▶観光地としても有名なMITのドーム



本校スーパーサイエンスハイスクールの事業の一環で、新3年の理系12人が3月10日から3月19日までアメリカ研修を行った。



◀ハーバード大学最初の寄付者のジョン・ハーバード氏の像



▲MSSM寮1階にあるロビー

What's the MSSM?

MSSM (Maine School of Science and Mathematics) はカナダとの国境の町であるメイン州ライムストーンに位置する全寮制の高校である。

全米でも100位に入る超優良校で、理系科目を中心とした生徒の自由な学習に重きを置いている。



▲寮内にはジムもあり、生徒が自由に利用できる。

初日のほとんどは移動に使われボストンのホテルに宿泊した。
2日目にはハーバード大学とMITがビル・ゲイツ氏の出資のもと、マリアリアの新薬開発を行っているブロード研究所を見学した。また午後からはMITとハーバード大学を見学した。
3日目にはカナダの国境付近に位置するライムストーンに到着し、MSSMを訪問した。MSSMは全寮制の高校であり、参加生徒には部屋のバディと授業のバディが振り分けられる。MSSMは大学によく似た授業形式をしており、生徒が自ら履修する科目

を選択し教授のいる部屋を授業ごとに移動するという仕組みだった。
4日目から本格的に授業の受講が始まった。慣れない英語の授業についていけない生徒も多かったが、数学や物理の授業での数式や図は世界共通であるため理解することができた生徒もいた。MSSMでは授業の時間は決まっているが、それ以外の時間はすべて個人の自由となっている。授業で出された課題をしたり、ジムで運動をしたり、研究をしたりするのが主な時間の過ごし方だった。寮には日本のゲーム機もあり、1階のロビーで遊ぶこともできた。